

平成26年度

主催：NPO法人一関文化会議所



一関ふるさと学習院



受講生大募集!!

平泉文化がもたらしたものの

募集要項

- 【期間】** 平成26年6月～10月の合計5回です。
主に14：00～16：00 現地探訪は8：00～17：00
- 【テーマ】** 磐井地方の歴史・文化・自然が中心です。
- 【講師】** 一関市内外の研究者、最新の情報や魅力に迫ります。
- 【定員】** 室内講座は40名（申込み順）現地探訪は40名（最少催行人数20名）
お好きな講座のみの受講もできます。
- 【受講料】** ◎室内講座全4回受講の方は4,000円（前払いです。原則として一関文化会議所に裏面の『受講申込書』でお申込み下さい。尚、欠席になっても受講料のお返しはいたしませんので、ご了承下さい。）
◎お好きな講座のみ受講の方は、その都度1,200円を会場でお支払い下さい。
◎現地探訪は3,000円（昼食込）
- 【申込み】** 平成26年6月13日（金）までお申込み下さい。
- 【会場】** 一関文化センター 小ホール 一関市大手町2-16
- 【連絡先】** NPO法人一関文化会議所事務局 一関市大手町2-16
一関文化センター内（TEL・FAX0191-32-4333/月～金）

NPO 法人 一関文化会議所「一関ふるさと学習院」
平成 26 年度・開講計画表



回	開催日時	内 容 (テーマ)	講 師	会 場
1	6月18日 (第3水曜日) [14:30~16:30]	開講式 (14:00~14:30) 開講式記念講座 「平泉文化と平泉都市圏」 平泉文化は、京都公家文化の単なるコピーにはあらず。 東アジアのグローバル・スタンダードに則った、ならびに東北日本の風土に即したユニークな文化だった。どちらかといえば、武家文化の先駆けだった。そして、平泉藤原氏のお藤元では、磐井・胆沢・江刺・気仙郡、奥田・黄海保が、平泉都市圏を形成していた。そこに、遠く北上河口の牡鹿郡までもが加わっていた。それは、なぜか。	一関市博物館 館長 入間田宣夫 氏	一関文化 センター 小ホール
2	7月16日 (第3水曜日) [14:00~16:00]	「中世都市平泉を支えた骨寺村」 中世平泉は藤原氏の拠点都市、それを支えたと考えられる骨寺村は、中尊寺経蔵別当領として絵図古文書に裏打ちされた希有な事例であり、その価値により、国の史跡・重要文化的景観に指定・選定されています。一見どこにもある集落と変わらない景色ですが、今なお中世の村の姿を伝えている要素と魅力を考えます。	一関市文化財 調査委員 工藤 武 氏	一関文化 センター 小ホール
3	9月1日 (第1月曜日) [14:00~16:00]	「平泉・土地に刻まれた歴史」 平泉はどこを掘っても遺跡が出るといわれています。それもそのはず、史都の上にまちが築かれてきたのですから。一体どんな遺跡や出土品があるのでしょうか。現地・平泉を会場にスライドや実物でごらんいただきます。	平泉文化財 遺産センター 所長 及川 司 氏	平泉文化財 遺産センター
4	9月22日 (第4月曜日) [8:00~17:00]	現地探訪 「中世平泉に思いをはせ天台仏教の古刹を散策」 一関市内⇒浄法寺IC⇒天台寺⇒自助工房四季の里(郷土料理の昼食) ⇒なにやーと物産センター⇒御所野縄文公園・縄文博物館⇒一戸IC⇒一関市内 (当日の行程は変更になることもあります)		集合場所 Uドーム
5	10月16日 (第3木曜日) [14:00~16:00]	開講式記念講座 「平泉文化の遺産と現代」 平泉に花開いた文化は、日本列島北辺において中世社会成立に大きな役割を果たした。いまま平泉文化を伝える文化財には多様なものがあるが、それをどのようにして生かすべきかについて考えたい。 閉講式 (16:00~16:30)	奈良大学教授 坂井秀弥 氏	一関文化 センター 小ホール

※日程・テーマ・講師・会場が都合により変更になる場合があります。その都度お知らせ致します。

キ リ ト リ セ ン

NPO法人 一関文化会議所
平成26年度一関ふるさと学習院

受講申込書

右記のとおり申し込みます。

平成26年 月 日

住所	〒	申込方法 本人・電話
フリガナ		歳 男・女
氏名	(印)	電 話 F A X
受講回 (〇印を)	1・2・3・4・5 (現地探訪会)	合計金額 (現地探訪会を除く) 円

個人情報は「一関ふるさと学習院」運営の目的のほかには利用しません。